

まち運営会議（第 77 回）議事録（概要）

平成 29 年 1 月 30 日 18:30～19:05 その後に新年会開催 自由が丘会館 3F

議長 卯月盛夫

議題

報告事項

1. 地域 BWA の免許取得に伴う今後の活動内容の紹介 岡田・自由が丘商店街振興組合理事長
（資料） 目黒区における地域通信サービス（地域 BWA）展開について
2017/1 JASPAS 株式会社

●渡邊代表 こんばんは。みなさんにおかれましてはお健やかに新年を迎えられたことと存じます。今年もよろしくお願ひいたします。イギリスの EU 離脱、トランプ大統領の就任と、世界は激動の時代に入っていると思います。前回は日本交通計画協会の研究報告書「駅とまち」の紹介がありました。駅とまちは一体関係で、ジェイ・スピリットもこういう問題に取り組んでまいります。今日は後ほど、ささやかではありますが新年会を開催いたします。ご参加をお願いします。議長は卯月先生にお願ひいたします。

●議長 自由が丘まち運営会議は第 77 回を迎え 13 年目に入りました。その本質が問われることになってきたと思います。本日は目黒区内の地域ブロードバンドワイアレスアクセスのサービスを行うための無線局を開設する免許を昨年 11 月に総務省から取得した JASPAS（ジャスパス）と関係の深い岡田商店街振興組合理事長さんから、自由が丘のまちでの利用等について説明をいただき、質疑応答をしたいと思います。

●理事長 後に新年会がありますので、用意した資料に沿ってかいつまんで説明します。免許を取得した JASPAS は自由が丘商店街からスタートしたクレジット決済システムを全国に提供する事業会社で、優秀な IT 系社員がいます。その利益の一部は自由が丘商店街振興組合とカード事業に関係していたのでジェイ・スピリットもその活動費になっています。

- ・地域 BWA を利用して、目黒区と連携した帰宅困難者対策をはじめ地域の防災・減災対策を行う。さらに日常的には観光対策や地域経済の活性化等を計画しています。今後このまち運営会議でもこれらのアイデアをいただければと思います。

- ・非常時には目黒区・警察・消防・自由が丘帰宅困難者対策協議会からの情報（避難誘導、防災無線による区の情報のバックアップ、ドローン等による映像等）がスマホ等に配信され、主要な人の間での通話が可能となります。

- ・地域 BWA の電波で配信した情報を、ビーコンと呼ぶ装置が他社の携帯電話（対応アプリが必要）でも受信できる Bluetooth の電波に変換して一斉配信します。あるいはデジタルサイネージに配信し表示させます。

- ・サービスの仕組みは、JASPAS の地域 BWA が NTT を通じてインターネットにつながり、区内で 2～3km の距離に設置されてあるソフトバンクの基地局を使ってスマホ等へ配信される。したがって基地設置費用はかかりません。

- ・地域 BWA はデータ通信サービスで、4 月ごろには駒沢オリンピック公園付近で試験的な電波を出す予定で、微調整をしながらできれば 2017 年度末には概ね区内の屋外で利用可能にする計画です。

その後、受信可能エリアの穴埋めなど品質向上を期す取組をするとともに、音声通信も順次提供する予定です。

・自由が丘のまちは多くのお客さんに来ていただいています。単に賑わいを創出すればよいというのではなく、さらに安全安心なまちになるように行政その他のみなさんとも連携して努力する必要がありますので、その一環として新しい技術を活用した取組にしたいと思っています。

●議長 ありがとうございます。ご質問があればお願いします。

●駒沢公園の世田谷区内に避難した人も災害情報を利用できるか。また、一方通行の利用となるか。

●理事長 駒沢公園では利用できる。双方向での利用ではない。

●一般の人が利用する場合の費用はどうなるのか。

●理事長 スマホなら災害情報等のアプリをダウンロードしてもらえば無料で利用できる。普通のスマホやタブレットとして使う場合は接続料金(例2,980円等)が発生するがまだその段階でない。ガラケーでは利用できない。

●自由が丘にはオフィシャルガイドウェブがあるが、それとの関係はどうなるのか。

●理事長 お互いに補完するものとなる。地域 BWA の電波帯は通常のインターネットの電波帯ではないので、非常時など混み合うとき、繋がりにくいときにも地域 BWA は利用できる。

●非常時のことも考えると、自由が丘でデジタルサイネージは景観阻害にもなるので検討が必要だが、適切な場所に適切な大きさのものを増やそうという動きがでてきてもよいのではないか。また、この地域 BWA を使った訓練をしたらどうか。

●理事長 大きなイベントの折に、紹介を兼ねて来街者に使ってもらうことも考えられる。また、駒沢公園への避難誘導訓練はいまはアナログであるが、訓練用の災害情報をスマホやタブレットで見ながら避難することもやってみたい。

●地域 BWA の電波の強さはどうなのか。

●理事長 地下では届かないとか屋内でも受信しにくい場合があるので、現状の強さと同じである。

●議長 目黒区の方で何かありますか。

●区経済課 経済方面でもぜひ活用してもらいたい。

●理事長 公共性を持ちつつ、商業面でもと区商連が委員会を設けて検討することになっている。

●非常時に目黒区内に同一の情報が発信されるのか。商業利用でも自由が丘で青葉台方面の個別の情報は知らなくてもよい。青葉台の人も自由が丘の個別情報については同じ感じだろう。

●理事長 内部でコンテンツを変えて各地域に応じた情報を発信することはできる。異なる情報を同時に発信すると基地局間で電波が干渉するので、時間差などの対応や見たい地域をクリックして情報を採ってもらうなどの対応が必要と思われるが、これからのことになる。

●屋外にある防災行政無線は、通常は同一の内容で音声を流しているが、非常時には必要なら地域を分けて個別の情報を発信できるようになっていると、目黒区危機管理室長から聞いている。

●静岡市の防災訓練はレベルが違うそうです。地域の 90%の人が参加し、それぞれいざというときの動きや役割が決まっている。各町内会は活発で真剣である。まちの人や目黒区防災課も静岡市の防災訓練を見学してノウハウを導入するとよい。自由が丘も地域 BWA の利用とともに、災害時の体制を整備することが必要だと思う。

●観光情報も来街者に見てもらえるように工夫しながら対応してほしい。

●議長 よろしいでしょうか。地域 BWA の活用の進捗については、これからもまち運営会議の議題にしたいですね。今日はこれで終わります。ありがとうございました。 ■